

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	博愛福祉会	代表者	大西 弘文	法人・事業所の 特徴	花と緑に囲まれた自然豊かな環境の中、犬や猫と共生できる家庭的で明るい雰囲気である。事業所の前には畑があり、保有能力を活かして季節の野菜や花を育てる事は、ご利用者の日常生活に潤いを与えている。また、収穫した野菜を使った料理が食卓に並ぶことは皆様の楽しみの一つである。
事業所名	サンホームみかづき 志文の里	管理者	光森 るみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	2人	1人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	個別ケアの更なる充実を図るため、ご利用者様の利用前(元気な頃)の状況を深く把握できるよう個人史シートを活用する。	ご家族様に個人史シートを記入して頂くとともに、ご本人様に伺い、その都度追記し、個々のニーズにあったサービスに繋げている。	意義はありません。	ご利用者様の生活歴を知り個別ケアの充実につながるよう個人史シートを活用する。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設内のみだけでなく、玄関周囲を含めた外周掃除を計画的に実施し、外から見ても清潔感のある環境を整備する。	玄関周囲は毎日欠かさず清掃できている。毎週日曜日を念入り掃除の日とし、外周掃除を計画的に実施している。	日中、事業所の玄関に以前は鍵がかかっていたような？現在はどうか？	環境整備を徹底し、ご利用様に快適に過ごして頂けるように努める。
C. 事業所と地域のかかわり	気持ちの良い挨拶をする。また、勤務時間内は「です」「ます」を基本とした言葉遣いが定着するようお互いに注意し合う。	全体会議や合同会議で研修を行った直後は言葉遣いが良くなっているが、定着するまでには至っていない。	意義はありません。	接遇マナーの中でも特に言葉遣いに力を入れて取り組み、その場で注意し合える関係性を構築する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご本人・ご家族のご要望を伺い、感染状況に注意しながら、地域へ外出する機会を確保する。外出が困難な場合は、代替行事を検討・実施する。	感染症の予防対策を徹底した上でドライブに出かけたり、テラスを活用しお茶会やお食事会等を工夫しながら実施することができている。	意義はありません。	感染対策を行いながら、外出の機会を確保する。また、散歩やテラスの活用により外に触れて頂く。
E. 運営推進会議を活かした取組み	会議の場で、地域の困りごとや高齢者の現状を伺う時間を設ける。また、相談があった際は、関係事業所に速やかに報告し対応する。	毎週開催の事業所間ミーティングに参加し、情報共有を行いながらその方に合った事業所を利用して頂く事ができている。	意義はありません。	地域の高齢者の情報を伺い、素早く柔軟に相談や受け入れが叶うよう事業所間で共有する。
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練(自然災害時・火災時)を継続して実施する。また、防災行動基準カードを熟知し、緊急時に慌てず行動できるようにする。	避難訓練(自然災害時・火災時)等を実施している。また、防災行動基準カードを熟知出来るように、会議等で声掛けを行っている。	意義はありません。	避難訓練(自然災害時・火災時)を継続して実施する。また、地域の方にも参加して頂ける避難訓練計画を作成し実行する。